

平成29年度 野々市市文化協会表彰受彰者名簿

文化功労賞

なか の こう いち
中 野 孝 一

住 所 野々市市清金三丁目
表彰事由 美術文化協会の理事として22年、副会長4年、会長4年と長きにわたり
歴任され会の運営・発展に尽力されるとともに、昭和62年の文化奨励賞、
平成3年の野々市町芸術文化功労表彰、平成17年の紫綬褒章、平成22
年の重要無形文化財保持者に認定、同じ年の野々市町文化賞と華々しい
受賞歴をお持ちである。人間国宝となられてからも、会主催のアートスク
ールや講演会などを通して、本市の美術文化の普及に努められた功績は
極めて顕著であり、本市文化の振興発展に大きく貢献されている。

あさ くら よし ひろ
朝 倉 喜 裕

住 所 野々市市押野一丁目
表彰事由 音楽文化協会理事を2年、副理事長を7年、副会長を10年、会長を18
年と長きにわたり務められ、現在も会長として協会の運営・発展に極めて
尽力されている。石川県を代表する音楽家・声楽家（バリトン）である以
上に、地域のおかあさんコーラスや混声合唱団等の指揮者・指導者として
全国屈指の存在である。県内合唱指導者の第一人者として高い評価を受
けている。市内のPTA活動や小学校・幼稚園での演奏活動も行い、特に
市制移行に際して混声合唱団「野々市市民合唱団」を創立し、記念演奏を
担当、以後地域諸施設等への活発な訪問演奏活動を行っている。また、国
体や国民文化祭、全国植樹祭等の石川県における重要な式典・イベントの
実行委員や式典責任者を務める等、本県・本市の音楽文化の推進発展に多
大な貢献をされている。

文化振興賞

なか むら さぶ ろう
中 村 三 朗

住 所 野々市市上林二丁目
表彰事由 民謡協会の理事を2年、幹事を16年、理事長を5年と長きにわたり務
められ、また文化協会の理事としても10年、常任理事を7年と歴任さ
れた。会の運営や後継者育成に尽力されるとともに、民謡文化の維持発展
に努められた功績は誠に顕著であり、会のリーダー的存在かつ会員の模
範である。

文化奨励賞

しみず かほる
清水 かほる

住所 野々市市本町一丁目

表彰事由 野々市じょんから節保存会の踊り子指導員として、地域指導において特に本町地区の模範となる踊り方を正確に継承し、指導回数はもとより初めての方に対する指導方法においては抜群の技術を駆使し、的確な指導見本となり活躍されていることから、保存会踊り継承者としての模範であり、市の伝統文化の向上に努められた功績は大である。

やま さ けい こ
山 佐 桂 子

住所 野々市市本町三丁目

表彰事由 野々市じょんから節保存会の踊り子指導員として、28年もの長きにわたり踊り指導に尽力され、地域の指導者として、今では指導に訪れたことがない町会が存在しないくらいじょんから踊りの普及に努められた功績は誠に顕著であり、会の模範指導員として、市の伝統文化の向上に努められた功績は大である。

もり けい すい
森 恵 水

住所 野々市市野代一丁目

表彰事由 華道協会の理事・監事として、会の運営・発展に多大な貢献をされるとともに、公民館サークル活動を通して25年間もの長きにわたり指導され、地域高齢者施設でのボランティア指導も続けておられるなど、市民の方々に伝統文化であるいけばなの普及に努められた功績は大である。

たけ さわ かず え
竹 澤 和 枝

住所 野々市市押越二丁目

表彰事由 茶道協会設立時から、茶道裏千家流を研鑽し、本町地区抹茶サークルの代表を務められている。文化協会の理事・監事を務められるとともに茶道協会においても監事や副会長を歴任され、会員の模範として、会の運営・発展に尽力するとともに、茶道の普及に努められた功績は誠に顕著である。

よし むら ひろ こ
吉 村 寛 子

住所 野々市市中林二丁目

表彰事由 茶道協会設立時から、皇風煎茶流を研鑽し、茶道協会の監事・会計幹事を務めて会の運営・発展に尽力するとともに、会員の模範として、茶道の普及に努められた功績は大である。